

科目名	日琉交流史		英文表記	History of Japan・Ryukyu Relations		平成23年3月18日			
科目コード	6005								
教員名：下郡剛						修正			
技術職員名：									
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全コース	専1	選	学修	2単位	講義	後期			
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合					
	①沖縄地域社会の理解を目的とし、日本本土との人々との移動に伴って生じる、文化・歴史の関係性についての認識を深める。			① (90%) ①に関する内容について試験を行い、その試験結果によって理解度を評価する。					
				② (10%) PBL班編制を行い、フィールドワーク対					
				③ (%)					
				④ (%)					
			⑤ (%)						
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械	情報	メディア	生物
				◎	JABEEプログラム教育目標	B-2,B-4,C-4	B-3,C-4	B-2,C-4	B-2,B-3,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	<p>資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。</p> <p>フィールドワークの手法を取り入れることで、特に沖縄北部地域が日本本土との交流に果たした役割をリアルに認識できるよう努める。</p> <p>フィールドワークを行う必要上、受講者の人数制限を行う。人数は公用車で引率できる学生数とする。</p>								
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料								
授 業 計 画									
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目		
1	ガイダンス	2	授業内容とその進め方等を説明する						
2	平安・鎌倉時代の日本仏教	2	琉球における仏教文化の母体となった、日本仏教						
3	琉球への仏教の伝来	2	近世期の琉球仏教の概要を知るとともに、それが						
4	琉球仏教の展開	2	日本から伝来した仏教が、古琉球期に、いかに琉						
5	僧侶を介した日本と琉球の文	2	日琉禅僧の媒介としての堺商人を取り上げ、禅僧						
6	補陀落渡海と日秀	2	琉球への仏教の伝来と定着の上で、大きな役割を						
7	漂到流求国記を読む1	2	漂到流求国記を読むことで、ヤコウガイ・赤木等を						
8	漂到流求国記を読む2	2	漂到流求国記を読むことで、観音信仰について学						
9	フィールドワーク1ー漂到流求	2	琉球大学図書館が所蔵する漂到流求国記コロタイ						
10	フィールドワーク1ー漂到流求	2	上記調査について、漂到流求国記コロタイプ複製						
11	フィールドワーク2ー金武観音	2	「補陀落渡海と日秀」での授業で得た知識をもと						
12	フィールドワーク2ー金武観音	2	上記調査について、観音寺への往復などで多くの						
13	フィールドワーク3ー円覚寺跡	2	日琉文化交流上大きな役割を果たした琉球臨済						
14	フィールドワーク3ー円覚寺跡	2	上記調査について、円覚寺跡への往復などで多く						
15	その後の日秀	2	補陀落信仰に基づき、琉球に渡海した日秀は、そ						
期末	期末試験	[1]							
学習時間合計		30	実時間				25		
<p>学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）</p> <p>フィールドワーク3回中の2回を選択し、レポートを提出する。</p>									